

図書室通信 11月の新着図書



小説



タイトル	作者
廃遊園地の殺人	斜線堂有紀
民王 — シベリアの陰謀 —	池井戸潤
ペッパーズ・ゴースト	伊坂幸太郎
砂に埋もれる犬	桐野夏生
星を掬う	町田そのこ ほか

児童書



タイトル	作者
世界を変えたキャンプ (マジック・ツリーハウス49)	メアリー・ポーブ・オズボーン
5さいのかがかくしゃかいなぜ?なに? が見える10のお話	世界文化ワンダークリエイト
「はやぶさ2」のはるかな旅	的川泰宣
ニッポンびっくり事典	こざきゆう
段ボールで作る! 動く、飛ぶ、遊ぶ工作	Jonathan Adolph ほか

エッセイ・実用書



タイトル	作者
お金が増える「ゆる投資」デビュー	さぶ
森の物語で紡ぐ刺しゅうのアクセサリと小物	コハナ
おうち性教育はじめます	フクチマミ
亡国の危機	櫻井よしこ
傘のさし方がわからない	岸田奈美 ほか

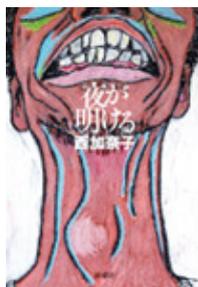
絵本



タイトル	作者
ゴリラさんは	北村裕花
おさるのジョージうんどうかいにでる	M.レイ
ほんやねこ	石川えりこ
うちにパンダがいるよ	高島純
おすしがすきすぎて	田中六大 ほか



夜が明ける
著:西加奈子



現代日本に存在する若者の貧困、虐待、過重労働がテーマ。思春期から33歳になるまでの男同士の友情と成長を描きながら、人間の哀しさ、弱さ、そして生きていくことの奇跡を綴る。著者5年ぶりの長編。



家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった
著:岸田奈美



車いすユーザーの母、ダウン症で知的障害のある弟、急逝した父—著者の自伝的エッセイ。心地よい脱力感のある文章が、重い内容でもサラッと読ませて、知らぬ間に爆笑させられ、気づくと涙がこぼれてしまっている。